

公衆衛生看護活動展開論 I

担当教員 福本 久美子、古賀 由紀子、中川 武子、未定

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 要件外

授業形態 講義・演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. ライフステージごとの健康課題と、人権尊重を基盤とした対象に応じた保健活動の実際を理解できる。
2. 個人、家族、集団の支援を結び付ける見方を理解できる。
3. 社会問題化しているテーマを取り上げ、問題の構造化と分析、解決の為の支援活動の提案ができる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション（授業のねらいとテーマ学習の進め方）（福本他）
2	母子保健福祉の現状と課題（未定）
3	法律に基づき展開される母子保健活動の実際（未定）
4	女性のライフステージの保健指導及び子育てリスクを持つ親子への保健指導（未定・外部講師）
5	成人保健の現状と課題（中川）
6	法律に基づき展開される成人保健活動の実際（中川）
7	高齢者保健の現状と課題（福本）
8	法律に基づき展開される高齢者保健の実際（福本）
9	母子・成人・高齢者保健に関するテーマ学習の発表と討論（中川・福本・未定）
10	学校保健の現状と課題（古賀）
11	学校保健制度に基づく学校保健活動の展開（古賀）
12	産業保健の現状と課題（福本）
13	産業保健における健康課題及び産業保健活動の実際（福本・外部講師）
14	学校保健・産業保健に関するテーマ学習の発表と討論（福本・中川・未定）
15	ライフステージをつなげて考える保健活動の組み立て（中川・福本・未定）

【履修上の注意事項】

- 1) 社会問題化している健康問題を教材として使うため、新聞、インターネット、論文その他、様々な情報を収集するツールを考えて臨む。
- 2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れる。

【評価方法】

ミニ試験 30% GW発表及び参加態度 30% レポート 40%

【テキスト】

1. [公衆衛生看護学] 荒賀直子他編集 インターメデカル
2. [国民衛生の動向] 厚生統計協会

【参考文献】

井伊久美子他編集 保健師業務要覧 日本看護協会出版会

公衆衛生看護活動展開論 II

担当教員 中川 武子、福本 久美子、未定、淀川 尚子

配当年次 2年

開講時期 第2学期

単位区分 要件外

授業形態 講義・演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

健康に障がいを抱える対象者の健康課題を明らかにし、課題を解決・改善するための方法を理解することができる。

障がい者対策・結核感染症対策・難病対策等の疾病管理の実際を学ぶとともに、広域的に保健活動を展開する実践方法を理解することができる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	講義) 障害者(児)保健活動: 障害者(児)保健の理念と保健施策 (中川)
2	講義) 障害者(児)保健活動: 障害者(児)の生活特性と自立支援 (中川)
3	講義) 精神保健活動: 地域集団の健康問題と保健師活動 (福本)
4	講義) 精神保健活動: 精神障害者の生活特性と保健師活動 (福本)
5	講義) 精神保健活動: 精神障害者に対する保健師活動 (福本)
6	講義) 口腔保健活動: 歯科保健の動向と歯科保健に関する歯科疾患 (淀川)
7	講義) 口腔保健活動: 生涯を通じた口腔保健施策 (未定)
8	講義) 難病保健対策: 難病保健の理念と変遷 (中川)
9	講義) 難病保健対策: 難病療養者の生活と保健指導 (中川・外部講師)
10	講義) 感染症対策: 感染症の基礎知識と保健活動の動向 (中川)
11	講義) 感染症対策: 感染症に関する法律と保健師の役割・感染症発生時の保健師活動 (中川)
12	講義) 結核対策: 結核の基礎知識・結核に関する法律と保健師の役割 (中川)
13	講義) 結核対策: 行政機関(保健所)の役割・結核発生時の保健師活動 (中川・外部講師)
14	演習) 障害者・精神・口腔・難病・感染症・結核に関するテーマ学習の発表 (中川・福本・新任)
15	講義) 健康課題別健康保健指導のまとめ (中川・福本)

【履修上の注意事項】

公衆衛生看護活動展開論 I を履修しておくことが望ましい。

自治体の感染症・障害者・難病対策に注目し、メディア・新聞等から健康に関する情報収集を収集すること。授業前にテキストを読み障害者・精神・難病・感染症・結核などについて調べ、授業後に復習をすること。

【評価方法】

試験 40% レポート 40% 発表及び参加態度 20%

レポート提出先: 教務課

【テキスト】

荒賀直子編集 公衆衛生看護学 インターメディカル (公衆衛生看護学概論にて使用した教科書)

【参考文献】

井伊久美子他編集 保健師業務要覧 日本看護協会出版会

公衆衛生看護活動展開論Ⅲ

担当教員 中川 武子、福本 久美子、未定

配当年次 3年

開講時期 第2学期

単位区分 要件外

授業形態 講義・演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

個人・家族の健康増進を図るために、彼らの健康課題を明らかにし、課題を解決・改善するための計画立案、支援活動を展開評価する実践技術を講義と演習を通して習得できる。
ヘルスプロモーションの理念に基づき健康相談、健康診査・健診、家庭訪問の一連のプロセスにおける基本的技術を習得できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	講義) 保健行動と保健指導 (中川)
2	講義) 健康相談: 健康相談の目的・対象・方法、健康相談援助の基本姿勢 (未定)
3	講義) 健康相談: 健康相談援助 (中川)
4	演習) 健康相談: 健康相談事例の検討 (中川・福本・未定)
5	講義) 健康診査: 健康診査の目的・対象・種類・方法 (中川)
6	演習) 健康診査: 乳幼児・成人に対する健康診査事業における保健指導 (中川・福本・未定)
7	講義) 家庭訪問: 家庭訪問の特徴、根拠法令、訪問対象の把握方法 (中川)
8	講義) 家庭訪問: 家庭訪問の優先順位 受け入れ困難なケースの対応 (中川・福本・未定)
9	演習) 家庭訪問: 事例の訪問計画作成 (新生児・成人・高齢者・精神・結核) (中川・福本・未定)
10	演習) 家庭訪問: 事例の訪問計画作成 (新生児・成人・高齢者・精神・結核) (中川・福本・未定)
11	演習) 家庭訪問: 事例のアセスメント・訪問事例の計画発表 (中川・福本・未定)
12	演習) 家庭訪問: 事例のアセスメント・訪問事例の計画発表 (中川・福本・未定)
13	演習) 家庭訪問: 新生児家庭訪問のロールプレイ (中川・福本・未定)
14	演習) 家庭訪問: 新生児家庭訪問のロールプレイ (中川・福本・未定)
15	講義) まとめ 既存資料による実習地区の特徴把握 (中川・福本・未定)

【履修上の注意事項】

講義と演習により健康相談、健康診査、家庭訪問に必要な技術の習得を目指す。学生主体で演習ができるよう計画性をもって臨むこと。講義前の事前学習と講義後の復習をおこなうこと。

【評価方法】

演習参加態度20% 実技演習 50% レポート30%
レポート提出先: 教務課

【テキスト】

- 1) 荒賀直子編集 公衆衛生看護学 インターメディカル (公衆衛生看護学概論にて使用した教科書)
- 2) 福岡地区小児科医会乳幼児保健委員会編、乳幼児健診マニュアル、医学書院、

【参考文献】

保健師業務要覧

公衆衛生看護活動展開論Ⅳ

担当教員 中川 武子、福本 久美子、未定

配当年次 4年

開講時期 第1学期

単位区分 要件外

授業形態 講義・演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

グループ・集団の健康増進を図るために、彼らの健康課題を明らかにし、各種事業や地区活動によって解決・改善する策を計画・立案し、地域の人々と協働して、支援活動を展開、評価、フォローアップする実践技術を講義と演習を通して習得できる。

ヘルスプロモーションの理念に基づき、健康教育の定義・理念について学習し、健康教育の一連のプロセスにおける基本的技術を習得できる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	講義) 健康教育概論 (健康教育の理論、定義、歴史、目的と対象、方法など) (中川)
2	講義) 健康教育の展開技術 (中川)
3	講義) 健康教育の展開技術 (中川)
4	講義) 地区特性の理解と健康課題の明確化 (中川・未定)
5	講義) 地区特性の理解と健康課題の明確化 (中川・未定)
6	演習) 対象の選定・参加者の勧奨 (中川・福本・未定)
7	演習) 健康教育計画 (企画・指導案) の作成 (中川・福本・未定)
8	演習) 健康教育計画 (企画・指導案) の作成 (中川・福本・未定)
9	演習) 健康教育の実施準備 (中川・福本・未定)
10	演習) 健康教育の実施準備 (中川・福本・未定)
11	演習) 健康教育の実施 (高齢者サロン・育児サークル等にて) (中川・福本・未定)
12	演習) 健康教育の実施 (高齢者サロン・育児サークル等にて) (中川・福本・未定)
13	演習) 健康教育後の評価 (中川・福本・未定)
14	講義) 事後フォローアップ、グループ支援、組織育成、地区活動への反映 (中川・未定)
15	講義) 事後フォローアップ、グループ支援、組織育成、地区活動への反映 (中川・未定)

【履修上の注意事項】

講義と演習により健康教育に必要な知識と技術の習得を目指す。学生主体で演習ができるよう計画性をもって臨むこと。授業前にテキストをよみ健康教育について調べてくること。授業後に復習をしておくこと。グループワークに積極的に参加し発言すること。

【評価方法】

演習参加態度20% 実技演習50% レポート30%

レポート提出先：教務課

【テキスト】

宮坂忠夫編、健康教育論、メヂカルフレンド社

【参考文献】

福留スミ子著、レッツ・トライ健康学習—幸せな健康教育実践—、やどかり出版

日本看護協会編著：保健師業務要覧

公衆衛生看護管理論 I

担当教員 福本 久美子、中川 武子、未定

配当年次 4年

開講時期 第1学期

単位区分 要件外

授業形態 講義・演習

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

- ①地域診断に基づく保健医療福祉計画と、計画を実現するための事業計画の策定方法が理解できる。
- ②保健社活動を円滑に進める上で必要な地域ケアシステムの形成過程、社会資源の公平な分配が理解できる。
- ③健康危機管理の理念と目的、制度とシステム、健康課題と展開方法に関する基本が理解できる。
- ④公衆衛生看護管理の構成要素、専門的自立と人材育成に関する基本が理解できる。

【授業の展開計画】

- 1 (福本) 公衆衛生看護管理の特色と基本となるもの
- 2 (福本) 公衆衛生看護管理の構成要素
- 3・4 (福本、中川、未定) 地域診断の概念、地区診断の過程、地域集団特性の把握、地区診断の実践
- 5・6 (福本、中川、未定) 地区把握と地区診断の実践1 (実習市町村を例に地区把握：GW)
- 7 (中川本) 社会資源とは、地域の社会資源の実際
- 8 (中川) 実習自治体の保健統計の見方、医療費分析
- 9～11 (福本、中川、未定) 地区把握・地区診断の実際2 (実習市町村を例に地区踏査：GW)
- 12 (福本) 地区診断に基づく事業計画と保健師の役割
- 13 (福本) 保健医療福祉計画の策定と予算
- 14.15 (福本、中川、未定) 地区把握・地区診断の実際3 (実習市町村を例に地区把握：GW)
- 16 (未定、福本) 地域組織活動の考え方、活動の種類
- 17・18 (未定・福本) 地域ケアシステムとその構築
- 19 (中川、未定) 健康危機管理対策の概要
- 20 (福本、中川、未定) 健康危機管理対策の実際
- 21・22 (中川、福本、未定) 健康危機管理対策(感染・災害) クロスワード演習 (GW・発表)
- 23・24 (中川、福本、未定) 健康危機管理対策における保健師活動 (GW・発表)
- 25・26 (福本、中川、未定) 地区把握・地区診断の実際3(実習市町村を例に要因分析：GW・発表)
- 27 (福本、未定) 事例検討会の意義と実際
- 28 (福本、中川、未定) 事例検討会の実際 (GW・発表)
- 29 (福本、中川、未定) 地区把握・地区診断の実際4 (実習市町村を例にした地域診断(仮説の設定)：発表)
- 30 (福本、中川、未定) 専門的自立と人材育成、公衆衛生看護倫理

【履修上の注意事項】

- 1) 実習フィールドを基に、公衆衛生看護管理に関する理解を深めるため、実習フィールドに出向くことがある。実習フィールドに関する情報は、自治体のホームページや既存の統計資料などから事前学習を行い、授業に参加すること。日々の実習が終了後、復習を行い学びを深めること。
- 2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れるため、授業以外の学習時間を活用し課題を整理することが必要となるため、学生間で調整を行い、グループ学習を進めること。

【評価方法】

GW発表及び成果資料50点、レポート20点、ミニテスト30点

【テキスト】

最新保健学講座5「公衆衛生看護管理論」メヂカルフレンド社、平野かよ子編集

【参考文献】

「新版保健師業務要覧第3版」日本看護協会出版会、井伊久美子他編集、他、適宜紹介

公衆衛生看護管理論Ⅱ

担当教員 福本 久美子、中川 武子、未定

配当年次 4年

開講時期 第1学期

単位区分 要件外

授業形態 講義・演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

- ①実習フィールドを事例とし、公衆衛生看護管理の模擬体験ができる。
- ②実習フィールドを事例とし、地域診断に基づく保健福祉計画と、計画を実現するための各種事業計画の策定方法、保健活動の評価について理解できる。
- ③保健師に求められる公衆衛生看護管理責任、管理能力が理解できる。

【授業の展開計画】

- 1 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実際 (フィールド自治体の紹介、オリエンテーション)
- 2 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実際 (自治体の計画の実際)
- 3 (福本、中川、未定) 実習自治体の地区把握の実際 (保健師インタビュー)
- 4 (福本、中川、未定) 地区活動計画 (事業計画) 立案
- 5・6 (福本、中川、未定) 地区活動計画・健康教育計画・訪問計画立案
- 7・8 (福本、中川、未定) 実習自治体の地区診断結果に関する発表
- 9～11 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実践の振り返り (実習フィールドを例に)
- 12～14 (福本、中川、未定) 地域保健活動の実践の振り返り (実習フィールドの指導者を対象にした発表)
- 15 (福本、中川、未定) まとめ (公衆衛生看護管理責任と能力について：報告書作成の意義と実際)

【履修上の注意事項】

- 1) 実習フィールドを基に、公衆衛生看護管理に関する理解を深めるため、実習フィールドに関する情報は、自治体のホームページや既存の統計資料などから事前学習を行い、授業に参加すること。
- 2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れるため、授業以外の学習時間を活用し課題を整理することが必要になるため、学生間で調整を行い、グループ学習を進めること。

【評価方法】

GW70%、報告書30%

【テキスト】

最新保健学講座5「公衆衛生看護管理論」メヂカルフレンド社、平野かよ子編集

【参考文献】

「新版保健師業務要覧第3版」日本看護協会出版会、井伊久美子他編集、他

疫学

担当教員 未定

配当年次 3年

単位区分 要件外

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

目的：人集団における疾病などの健康事象の分布と規定要因を解明し、健康の保持増進を疫学の観点から理解し、説明できることを目的とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	疫学の概略 保健学領域における疫学の位置づけ等について講義する。
2	疾病発生要因の疫学的解明 疫学的観点から疾病発生要因について講義する。
3	疫学指標 疫学で議論される健康・疾病指標について理解を深める。
4	標準化 集団間の年齢構成の相違を調整することの理由を講義する。
5	相対危険度とオッズ比 疾病のリスク要因の評価法を講義する。
6	疫学研究法の基本 疫学の歴史・応用等について講義する。
7	スクリーニング 集団健診における効果的な篩分け法について講義する。
8	疫学研究方法1：記述疫学、分析疫学 疫学研究の段階的方法論を講義する。
9	疫学研究方法2：横断研究、生態学研究 疫学的研究手法について講義する。
10	介入研究 効果的な介入研究の方法論を講義する。
11	因果関係と交絡因子 疫学的観点から因果関係ならびに交絡因子について講義する。
12	統計学的方法1 疫学研究に必要な統計学的手法について講義する。
13	統計学的方法2 回帰分析、重回帰分析等 疫学研究に必要な回帰分析について講義する。
14	疫学研究と倫理 疫学調査を遂行するための倫理規定等について講義する。
15	疫学総合 疫学の有効性を総合的に説明できるように講義する。

【履修上の注意事項】

予習と復習をおこなうこと。テキストを読むこと。

【評価方法】

受講態度ならびにレポート10%、筆記試験90%として総合的に評価します。

【テキスト】

日本疫学会監修：はじめて学ぶやさしい疫学 ー疫学への招待ー 改訂最新版 南江堂

【参考文献】

- 厚生労働統計協会篇、「国民衛生の動向」
- Miquel Porta編（日本疫学会訳）、「疫学辞典」、日本公衆衛生協会発行、3. 配布プリント等

保健統計学

担当教員 福本 久美子、中川 武子、未定、庄野 昌博

配当年次 3年

開講時期 第2学期

単位区分 要件外

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

集団や地域の顕在的、潜在的な健康課題を明らかにし、解決・改善策を計画立案するために、地域の人々の生活と健康に関する情報を多角的・継続的に収集し、分析する手法を理解できる。

【授業の展開計画】

- ①保健統計とその見方を理解する。：保健に関する統計資料の所在とそのデータ収集過程、統計を読む際の諸注意、保健指標の性格と意味、統計図表の作成、既存統計資料の簡単な解析法
- ②統計調査と記述的解析を理解する。：統計調査法、データの集計方法とその記述的解析法
- ③統計的推論の方法について理解する

週	授 業 の 内 容	
1	福本	公衆衛生看護学における保健統計を学ぶ意義
2	中川	保健統計のその見方1 (統計資料の見方:年次推移)
3	未定	保健統計のその見方2 (統計資料の見方:地域分布)
4	福本	保健統計のその見方3 (統計資料の見方:関連要因別の比較)
5	福本	保健統計のその見方4 (統計資料の見方:将来予測)
6	中川	保健統計のその見方5 (保健統計の種類と統計分類:ICD10)
7	中川	保健統計のその見方6 (レセプトと医療統計)
8	福本(外部)	統計調査と記述的解釈1 (統計調査法)
9	福本(外部)	統計調査と記述的解釈2 (データの集計方法)
10	福本(外部)	統計調査と記述的解釈3 (データの記述的解析法)
11	福本(外部)	統計的推論1 (確率)
12	福本(外部)	統計的推論2 (検定)
13	福本(外部)	統計的推論3 (検定)
14	福本(外部)	統計的推論3 (推定)
15	福本・中川・未定	情報の管理、まとめ

【履修上の注意事項】

- 1) 計算機、定規等使用するのので、準備すること。
- 2) 授業の予習復習を行うこと。

【評価方法】

ミニテスト30点×3回=90点、予習・復習による自主的学修態度10点

【テキスト】

1. [標準保健師講座別巻2 疫学・保健統計] 牧本清子他、医学書院
2. [国民衛生の動向] 厚生統計協会

【参考文献】

適宜、紹介。

保健福祉行政論

担当教員 福本 久美子、河谷 はるみ、中川 武子、未定

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 要件外

授業形態 講義・演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 地域の人々の健康を保障するため、生活と健康に関する社会資源の公平な利用と分配を促進する必要性について理解できる。2. 保健医療福祉行政の仕組み、地域の健康課題に必要な社会資源の開発、評価等の基礎となる法律・制度・政策について理解できる。

【授業の展開計画】

教科書およびその内容理解を助けるプリントを配布し、以下の内容について講義を進める。

週	授 業 の 内 容	
1	福本	保健医療福祉の行政の理論と機能①
2	福本	保健医療福祉の行政の理論と機能②
3	福本	保健医療福祉の財政
4	福本・中川・未定	保健医療福祉行政の計画と評価①GW
5	中川	社会情勢の変化と保健医療福祉行政の変遷①
6	中川	社会情勢の変化と保健医療福祉行政の変遷②
7	福本	社会保障制度と公衆衛生行政
8	未定	地域保健の制度
9	中川	公衆衛生に関する国際的な活動
10	河谷	社会保障制度（社会福祉）
11	福本(外部)	医療制度（医療提供体制）
12	福本(外部)	地域保健の制度の実際の運用
13	福本・中川・未定	保健医療福祉行政の計画と評価②GW発表
14	福本(外部)	介護保険制度
15	福本・中川・未定	保健医療福祉行政の計画と評価③GWまとめ

【履修上の注意事項】

- 1) 予習復習を行い、講義に積極的に参加すること。
- 2) グループワークや討論など参加型の手法を取り入れるため、授業以外の学習時間を活用し課題を整理することが必要になるため、学生間で調整を行い、グループ学習を進めること。

【評価方法】

レポート（60%）、GWと発表（40%）

レポート提出先：教務課

【テキスト】

『これからの保健医療福祉行政論』日本看護協会

【参考文献】

『国民衛生の動向』厚生統計協会、『国民福祉の動向』厚生統計協会、『蘇陽風とくらしと健康』熊本日日出版社

保健福祉行政論演習

担当教員 福本 久美子、中川 武子、未定

配当年次 3年

開講時期 第2学期

単位区分 要件外

授業形態 演習

単位数 1

準備事項

備考

【授業のねらい】

保健医療福祉行政に関する基礎的知識を深め、健康関連施策等の社会資源の開発とその質を保証していく活動展開方法について、関連施設の見学や事例検討等を通して、理解する。

【授業の展開計画】

施設見学や事例検討等をとおして、以下の内容について展開する。

週	授 業 の 内 容	
1	福本	公衆衛生看護学における保健医療福祉行政の理念・役割・法的な意味
2	福本	保健医療福祉行政における社会資源の意味
3	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（児童相談所）
4	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（児童相談所）
5	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（精神保健福祉センター）
6	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（精神保健福祉センター）
7	福本・中川・未定	社会資源の利用と分配の実態（対人サービス）について考える（GW現地にて）
8	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（食肉衛生検査所）
9	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（食肉衛生検査所）
10	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（保健環境研究センター）
11	中川・未定	保健医療福祉行政の実践場面（保健環境研究センター）
12	中川・福本・未定	社会資源の利用と分配の実態（対物サービス）について考える（GW現地にて）
13	福本・中川・未定	実践場面の見学を通して、社会資源の利用と分配、計画について考える（GW）
14	福本・中川・未定	実践場面の見学を通して、社会資源の利用と分配、計画について考える（発表）
15	福本・中川・未定	まとめ、報告書の作成

【履修上の注意事項】

- ①施設見学の内容・注意点については講義中に説明する。
- ②施設見学前後の課題について学習すること。
- ③講義終了後、実習地域の特徴を調べ、実習に備える。

【評価方法】

GW発表内容30点、報告書30点、施設演習レポート40点

【テキスト】

[これからの保健医療福祉行政論]日本看護協会、[公衆衛生がみえる]MEDIC MEDIA

【参考文献】

[国民衛生の動向]厚生統計協会、[国民福祉の動向]厚生統計協会、[保健師業務要覧]日本看護協会

公衆衛生看護学実習

担当教員 福本 久美子、中川 武子、未定

配当年次 4年

開講時期 第1学期

単位区分 要件外

授業形態 実習

単位数 5

準備事項

備考

【授業のねらい】

- (1) 地域で生活している個人・家族の生活背景・家族関係・社会的立場や環境を含めて人々を深く理解し、支援するために、集団や地域を対象として保健師が行う公衆衛生看護活動の基本的な知識・技術・態度について体験を通して習得する。
- (2) 公衆衛生看護の特徴、行政保健師及び地域包括支援センターの保健師に求められる役割について学ぶ。

【授業の展開計画】

1. 実習期間：県型保健所1週間及び市町村4週間の計5週間（2017年7月24日から9月15日）。
 - ①7月24日～2週間市町村 ②8月28日～1週間保健所 ③9月4日～2週間市町村（地域包括支援センター含む）
2. 実習場所：熊本県内自治体（具体的な施設名は年度当初紹介）。なお、実習期間中に地域包括支援センターや実習地域内の事業所の産業看護活動や学校保健活動を学ぶ機会を含む。
3. 実習内容
 - (1) 学内事前学習（公衆衛生看護管理論にて地区活動の具体的な展開方法を学ぶ）
 - ①実習フィールドの既存資料などから情報収集・分析をし、健康課題の仮説を立案
 - ②実習目的目標の明確化、行動計画や健康教育計画・訪問計画等の策定。
 - (2) 市町村実習（4週間：地域包括支援センター見学実習、学内まとめを含む）
 - ①実習市町村及び保健事業の概要に関するオリエンテーション
 - ②インタビューや地区踏査と既存資料の情報から地域特性や生活実態等の地区把握と地区診断
 - ③住民や関係機関と連携・協働④保健活動に参加し、個別支援と集団アプローチの保健事業の実習
 - ⑤継続的な家庭訪問の実施（2事例以上：母子、高齢者等）
 - ⑥地区の健康課題に即した健康教育の実施（必ず1回）
 - ⑦健康をつくる活動の企画から評価までの流れを学ぶ（施策化の流れ）
 - ⑧地域包括支援センターの見学実習等
 - ⑨実習自治体内の学校・事業所に対するインタビューを行い、行政・学校・事業所の連携を学ぶ
 - (3) 保健所実習（1週間）
 - ①専門的知識・技術が求められる相談や訪問の体験
 - ②広域における健康危機（感染症、食中毒、自殺、DV、虐待、災害等）の実践事例の検討、健康危機管理マニュアルの理解
 - ③広域的な社会資源の実際を把握し、見学体験する
 - ④広域行政としての計画の策定、施策化について、保健医療計画等の記述内容・策定過程から学ぶ
 - ⑤既存の保健・医療・福祉分野の包括的ネットワークシステムの一つを取り上げ、背景にある法律や条令、地域の健康課題との関連、ネットワークシステムができた過程や関係者・関係機関の連携を学ぶ
 - ⑥保健所管轄事業所における産業看護を学び、職域連携を学ぶ

【履修上の注意事項】

- ①実習要綱を活用し、予習復習を行うこと
- ②カンファレンスは毎日行い、情報の共有や問題解決の場とし、中間カンファレンスや最終カンファレンスで実習目的目標と照らし学習成果の確認を行うこと
- ③実習記録は要綱の様式に従うこと。その様式は大学ホームページからダウンロードすること
- ④実習現場までの交通手段、緊急連絡方法等は事前に確認し、指導教員に報告・連絡をすること

【評価方法】

実習の到達目標にそって、実習内容（実習記録・レポート・事業参加状況・実習態度など）を総合的に評価。

【テキスト】

1. 最新保健学講座「公衆衛生看護管理論」平野かよこ編集 メヂカルフレンド社
2. 「国民衛生の動向」厚生統計協会

【参考文献】

「新版保健師業務要覧」日本看護協会出版会、適宜紹介。